

2. 専門基礎分野

1) 専門基礎分野構築の考え方

専門基礎分野は、看護学を学ぶために必要な基礎知識と科学的な根拠に基づいた看護実践に向けて必要な基礎的専門知識を習得できるよう構築した。

教育内容は、(1)人体の構造と機能、(2)疾病の成り立ちと回復の促進、(3)社会保障制度と生活者の健康の三つの内容から構成されている。

「人体の構造と機能」では、人体機能構造論Ⅰ～Ⅲで人体の構造と機能を系統立てて学び、人間の生命現象について理解できるように設定した。

生化学では、化学物質の性状と代謝の仕組み・代謝産物の排泄の仕組みについての理解、それと同時に栄養学を加えて生命現象と関連付けて栄養療法の理解が得られるように設定した。

「疾病の成り立ちと回復の促進」では、人体の諸機能の障害されている部分の病態を理解し、障害部位の回復を促進するために必要な検査・治療・処置を系統別に学ぶため、疾病治療論Ⅰ～Ⅵを設定した。薬理学Ⅰ・Ⅱでは基礎的な薬理作用や薬物について学び、微生物学では微生物が人体に与える影響を知り感染予防についても理解が深められるように設定した。

「社会保障制度と生活者の健康」では、医療概論で医療・医学の原点及び包括的な医療のあり方と社会全体の医療システムを学ぶ。環境衛生学Ⅰ・Ⅱでは、環境や日本の健康政策との関連から、健康の保持・増進の為の取り組みを学ぶ。関係法規では、医療・看護に関する法の基礎的知識を学び、医療従事者としての法的責任が自覚できることをねらいとした。社会福祉Ⅰ・Ⅱでは人権を尊重しそれを保障する施策と活動を学び、他の医療・保健・福祉との連携のあり方が理解できるように設定した。

2) 専門基礎分野の構成と科目のねらい

教育内容	科目名	単位数 (時間数)	ねらい
人体の構造と機能	人体機能構造論Ⅰ	1単位 (30時間)	人体の発生、構成、人体をつくる仕組み、感覚、認識、情報処理をつかさどる器官の機能と構造について理解する。
	人体機能構造論Ⅱ	1単位 (30時間)	生命現象の基本となる呼吸・循環・消化器系の機能と構造を理解する。
	人体機能構造論Ⅲ	1単位 (30時間)	血液・体液の調節と尿の生成、内分泌系、人間存続に必要な生殖器系の機能と構造を理解する
	生化学	1単位 (30時間)	人体を構成している内部環境である化学物質の性状・その分布及び代謝のしくみについて理解する。
	栄養学	1単位 (30時間)	人体の栄養摂取機構について学び、健康障害時の食事療法の基本を学ぶ。
疾病の成り立ちと回復の促進	疾病治療論Ⅰ	1単位 (15時間)	人体の諸機能の障害されている部分についての生命現象の基礎的知識と基本的な病態を理解する。
	疾病治療論Ⅱ	1単位 (30時間)	呼吸器・循環器疾患の病態生理及び検査・治療・予防法を理解する。
	疾病治療論Ⅲ	1単位 (30時間)	消化器・血液・造血・自己免疫・アレルギー疾患の病態生理及び検査・治療・予防法を理解する。
	疾病治療論Ⅳ	1単位 (30時間)	内分泌・代謝、腎・泌尿器・男性生殖器、皮膚、精神疾患の病態生理及び検査治療・予防法を理解する。
	疾病治療論Ⅴ	1単位 (30時間)	脳・神経、運動器疾患および、耳鼻咽喉疾患、眼疾患の病態生理及び検査・治療・予防法を理解する。
	疾病治療論Ⅵ	1単位 (30時間)	女性生殖器の疾患、新生児・小児の異常・疾患について理解する。
	薬理学Ⅰ	1単位 (15時間)	主な薬物の特徴、作用機序、人体への影響および薬物の管理について理解する。
	薬理学Ⅱ	1単位 (30時間)	種々の疾患の治療と予防のために用いられる主な医薬品の生体への薬理作用と看護への活用について理解する。
	微生物学	2単位 (30時間)	病原微生物の特徴と人体への影響を知り、病原微生物の感染予防方法を理解する。
社会保障制度と生活者の健康	医療概論	1単位 (30時間)	医療・医学の原点について学び、医療のあり方と看護のあり方がわかり地域における包括的な医療、社会全体の医療システムを理解する。
	環境衛生学Ⅰ	1単位 (15時間)	健康と環境の関連性についての認識を深め、集団の健康を維持するための基本的知識を理解する。
	環境衛生学Ⅱ	1単位 (30時間)	人間集団の健康を守り、快適な環境を保持するための具体的な方策とそれに基づいた制度について理解する。
	関係法規	1単位 (30時間)	医療・看護に関する主な法規について学び、医療従事者としての法的責任の基本を理解する。
	社会福祉Ⅰ	1単位 (15時間)	国民の生存権を保障するための社会的な施策および活動について理解する。
	社会福祉Ⅱ	1単位 (15時間)	社会福制度の最近の動向を踏まえて、看護と福祉関連領域との連携のあり方を理解する。

2. 専門基礎分野－3) 教授内容

(1) 人体の構造と機能

授業科目	人体機能構造論 I	講師名	前川正夫	単位 1 単位	時期 1年次前期
				時間 30 時間	
科目目標	1. 人体を構成する組織と骨、筋肉の機能と構造について理解できる。 2. 生命を保つための神経系の機能と構造について理解できる。 3. 感覚器の機能と構造を系統的に理解できる。 4. 人間の身体についての的確なアセスメントができるために必要な情報を理解できる。				
単元	回数	授業内容			方法
人体をつくる 仕組み	1	1. 人体の構造と機能(解剖学と生理学)とは			講義
	2	2. 人体の構造と機能を学ぶ基礎知識 1)人体とは 2)細胞と組織 3)構造と機能から見た人体			
	3	3. 人体の支持と運動			
	4	1)骨の構造と機能			
	5	2)筋の構造と機能			
	6	4. 体表から見た人体の機能 1)体表から触知できる骨格部分 2)体表から触知できる大きな筋			
情報の受容と 処理	7	5. 神経系の構造と機能			
	8	6. 中枢神経系			
	9	7. 末梢神経系			
	10	8. 内臓機能の自律神経による調節			
	11	9. 脳の高次機能			
	12	10. 外部環境からの防御			
	13	1)皮膚 2)生体防御機構 3)体温とその調節			
	14	11. 感覚器の構造と機能			
	15	1)痛み 2)眼 3)耳 4)味覚・嗅覚			
	評価	16 (90分)	筆記試験 100% 100点		
	テキスト等 人体の構造と機能 1 解剖生理学, 系統看護学講座 専門基礎分野, 医学書院 看護学生のための解剖生理 第2版メヂカルフレンド社				

授業科目	人体機能構造論 Ⅱ	講師名	荒井興夫	単位 1 単位	時期
				時間 30 時間	
<p>科目目標 1. 生命維持に関する循環・呼吸・消化器系諸器管の機能的形態的特徴や特異性、器管相互の関連性について理解できる。</p> <p>2. 人間の身体についての的確なアセスメントができるために必要な情報を理解できる。</p>					
単元	回数	授業内容			方法
人体を維持する仕組み	1	1. 血液の循環とその調節			講義
	2	1) 循環器系の構成			
	3	2) 心臓の構造			
	4	3) 心臓の拍出機能			
	5	4) 末梢循環系の構造			
	6	5) 血液の循環の調節			
		6) リンパとリンパ管			
		2. 体表から見た人体の機能			
		1) 体表から触知できる動脈			
		2) 体表から到達できる静脈			
	7	3. 呼吸器の構造と機能			
	8	1) 呼吸器の構造			
	9	2) 呼吸			
	10				
	11				
	12	4. 栄養の消化と吸収			
	13	1) 口・咽頭・食道の構造と機能			
	14	2) 腹部消化管の構造と機能			
	15	3) 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能			
		4) 腹膜			
評価	16 (90 分)	筆記試験 100% 100 点			
<p>使用テキスト等</p> <p>人体の構造と機能 1 解剖生理学, 系統看護学講座 専門基礎分野, 医学書院</p> <p>看護学生のための解剖生理 第 2 版メヂカルフレンド社</p>					

授業科目	人体機能構造論 Ⅲ	講師名	久保 房子	単位 1 単位	時期 1 年次前期
				時間 30 時間	
科目目標	1. 血液および体液の調節と尿の生成について理解できる。 2. 生命を保つための内分泌系の機能と構造について理解できる。 3. 人間の存続に必要な生殖器系の機能と構造、遺伝について理解できる。 4. 人間の身体についての的確なアセスメントができるために必要な情報を理解できる。				
単元	回数	授業内容			方法
血液と体液の調節と尿の生成	1	1. 血液の組成と機能			講義
	2				
	3				
	4	2. 体液の調節と尿の生成 1) 腎臓 2) 排尿路 3) 体液の調節			
	5				
	6				
内分泌機能	7	3. 内蔵機能の調節 1) 内分泌系による調節 2) 全身の内分泌腺と内分泌細胞 3) ホルモン分泌の調節 4) ホルモンによる調節の実際			
	8				
	9				
	10				
	11				
生殖機能および発生と老化	12	4. 生殖・発生と老化の仕組み 1) 男性生殖器 2) 女性生殖器 3) 受精と胎児の発生 4) 成長と老化			
	13				
	14				
評価	15	筆記試験 100% 100 点(90 分) 試験詳細 ①血液 1～3: 20 点満点(18 分) ② 腎 4～6: 20 点満点(18 分)、 ③内分泌と生殖 7～14: 60 点満点(54 分)			
テキスト等 人体の構造と機能 1 解剖生理学, 系統看護学講座 専門基礎分野, 医学書院 看護学生のための解剖生理 第 2 版メヂカルフレンド社					

授業科目	生化学	講師名	古田裕明	単位 1 単位	時期 1 年次前期
				時間 30 時間	
科目目標 1.人体を構成している化学物質の性状について理解できる。 2.人体の代謝産物のしくみと機能について理解できる。					
単元	回数	授業内容			方法
生体を構成する物質	1	生化学を学ぶための基礎知識			講義
	2	糖質			
	3				
	4	脂質			
	5				
	6	蛋白質			
	7				
	8	核酸			
	9	無機質、体液、血液			
	10	中間試験、まとめ			
	11	ホルモン			
	12	酵素、ビタミン			
生体内の物質代謝	13	糖質代謝			
	14	脂質代謝 核酸代謝			
	15	蛋白質代謝			
評価	筆記試験 100% 100 点 (90 分)				
テキスト等 生化学 人体の構造と機能2, 系統看護学講座, 医学書院					

※評価方法

筆記試験100%

授業科目	栄養学	講師名	古田裕明	単位 1 単位	時期
				時間 30 時間	
科目目標	1. 日本人の食生活や栄養状態の現状をふまえて、人間の健康と栄養の関連について理解できる。 2. 健康の維持、増進、回復に必要な栄養管理、健康レベルに応じた食事摂取方法について理解できる。 3. 健康状態と栄養状態に関する的確なアセスメントができるために必要な情報を理解できる。				
単元	回数	授業内容			方法
	1	栄養、栄養素			講義
	2	蛋白質の栄養障害 臨床栄養学の意義			
	3	食品の成分			
	4	ビタミン			
	5				
	6	ミネラル等			
	7				
	8	エネルギー必要量、食事摂取基準			
	9	エネルギー摂取の計算、栄養アセスメント			
	10	運動と栄養			
	11	人生各期の健康生活と栄養			
	12	検査と食事			
	13	治療と食事			
	14	経口摂取できない患者のための栄養管理 経管栄養法、高カロリー輸液法			
評価	15	筆記試験 100% 100 点 (90 分)			
テキスト等 臨床栄養学 ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ち②, 臨床栄養学, メディカ出版					

2.専門基礎分野－3) 教授内容

(2) 疾病の成り立ち と回復の促進

授業科目	疾病治療論 I	講師名	黒須 明	単位 1 単位 時間 15 時間	時期 1 年次前期
科目目標 1.病理学の基本的概念が理解できる。					
単元	回数	授業内容			方法
病理学とは 先天異常	1	1. 看護と病理学 2. 病気の原因 3. 疾病の分類 4. 遺伝子異常・疾患・診断 5. 染色体異常・疾患・診断			講義
代謝障害	2	1. 細胞の損傷と適応 2. 物質沈着 3. 代謝障害と疾患			
循環障害	3	1. 局所性の循環障害 2. 全身性の循環障害 3. リンパの循環障害			
炎症	4	1. 炎症とは 2. 炎症の各型			
免疫と膠原病	5	1. 免疫 2. アレルギーと自己免疫疾患 3. 膠原病 4. 移植と免疫			
腫瘍	6	1. 腫瘍の定義と分類 2. 腫瘍の発生病理 3. 転位と進行 4. 診断・治療			
老化と死	7	1. 細胞の老化と固体の老化 2. 変化 3. 死			
評価		筆記試験 100% 100 点 (45 分)			
テキスト等 疾病の成り立ちと回復の促進 1 病理学, 系統看護学講座, 医学書院					

授業科目	疾病治療論 Ⅱ	講師名	1.鈴木 史江 中田 哲也 菅沼 良恵	単位 1 単位	時期 1年次前期～後期
			2.天摩 久美子 須藤 ゆかり	時間 30 時間	
科目目標 1 呼吸器疾患の病態生理と治療・検査について理解できる。 2 循環器疾患の病態生理と治療・検査について理解できる。					
単元		回数	授業内容		講師名
1. 呼吸器	呼吸器疾患の症状と病態生理	1	1.自覚症状 1)喀痰 2)血痰 3)咯血 4)せき 5)その他		鈴木
		2	2.他覚症状 1)チアノーゼ 2)ばち指 3)発熱 4)喘鳴 5)呼吸の異常 6)その他		
	呼吸器疾患の検査と治療・処置	3	1.診察と診断の流れ 2.検査 1)血液検査 2)喀痰検査 3)胸水検査 4)画像診断 5)内視鏡検査 6)生検 7)肺機能検査		中田
		4	3.治療・処置 1)吸入療法 2)酸素療法 3)人工呼吸療法 4)呼吸理学療法 5)気道確保 6)その他		
	呼吸器疾患の理解	5	1.感染症、2.間質性肺炎、3.気道疾患 4.肺血栓・塞栓症		鈴木
		6	5.呼吸不全、6.呼吸調節に関する疾患 7.肺腫瘍 8.肺・血管の形成異常		
		7	9.胸膜・縦隔・横隔膜の疾患、10.肺移植、 11.胸部外科		菅沼
2. 循環器	循環器疾患の症状とその病態生理	8	1.胸痛、2.動悸、3.呼吸困難、4.浮腫		天摩
		9	5.チアノーゼ、6.失神、7.四肢の疼痛、8.ショック		
	循環器疾患の検査と治療・処置	10	1.診察と診断の流れ 2.検査 1)心電図 2)胸部 X 線撮影 3)心エコー 4)心臓カテーテル 5)その他		須藤
		11	3.治療・処置 1)内科的治療について 2)外科的治療について 3)補助循環装置		
		12	1.虚血性心疾患、2.心不全、3.血圧異常		
	循環器疾患の理解	13	4.不整脈、5.弁膜症、6.心膜炎		須藤
		14	7.心筋疾患、8.肺性心、9.先天性心疾患		
15		10.動脈系疾患、11.静脈系疾患、 12.リンパ系疾患、13.高脂症			
評価		筆記試験 1.呼吸器 50% (鈴木 30 点・中田 10 点・菅沼 10 点) 45 分 2.循環器 50% (天摩 25 点・須藤 25 点) 45 分			
テキスト等 1.呼吸器) 成人看護学 2 呼吸器 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院 2.循環器) 成人看護学 3 循環器 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院					

※評価方法:筆記試験 100%

授業科目	疾病治療論 Ⅲ	講師名	1. 久保房子 2. 佐藤優子 3. 山咲朱里	単位 1 単位	時期 1 年次前期～後期
			時間 30 時間		
科目目標 1 消化器疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 2 血液・造血、自己免疫・アレルギー疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。					
	単元	回数	授業内容	方法	担当
1. 消化器	消化器疾患 の症状と病態 生理	1	1.消化管疾患の症状とその病態生理、 1)嚥下困難 2)嘔吐 3)腹痛 4)吐血・下血 5)便秘 6)その他 2.肝臓疾患の症状とその病態生理、 1)腹水 2)黄疸 3)門脈圧亢進 4)肝性脳症	講義	久保
		2			
	消化器疾患 の検査と治 療・処置	3	1.診察と診断の流れ 2.検査、 1)胃液・十二指腸液検査 2)肝機能検査 3)放射線検査 4)内視鏡検査 5)肝生検 6)その他 3.治療・処置 1)薬物療法 2)食事療法 3)手術療法 4)放射線療法		
4					
5					
	消化器疾患 の理解	6	1.食道の疾患、 2.胃・十二指腸疾患、 3.腸および腹膜疾患 4.肝臓・胆嚢の疾患 5.膵臓の疾患 6.急性腹症 7.腹部外傷		
		7			
		8			
2. アレルギー /膠原病	アレルギー 疾患/ 膠原病	9	1.免疫の仕組みとアレルギー 2.自己免疫疾患とその機序 3.症状と病態生理 4.検査と治療 5.主な疾患	講義	佐藤
		10			
		11			
3. 血液	血液造血器 疾患	12	1.主な症状と病態生理 2.主な検査・治療・処置 3.主な疾患	講義	山咲
		13			
		14			
	評価	15	筆記試験 100% 1.消化器:60 点 60 分、 2.アレルギー・膠原病:20 点 15 分 3.血液 20 点:15 分		
テキスト等 1.消化器)成人看護学5 消化器 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院 2.アレルギー・膠原病)成人看護学 11 アレルギー・膠原病・感染症、系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院 3.血液)成人看護学4 血液・造血器 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院					

授業科目	疾病治療論 IV	講師名	1. 園田好美 2. 大島由喜 3. 正林 愛 4. 石川文徳	単位 1 単位 時間 30 時間	時期 1 年次後期
			科目目標 1. 内分泌・代謝疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 2. 腎・泌尿器、男性生殖器疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 3. 皮膚疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 4. 精神科疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。		
	単元	回数	授業内容	方法	担当
1. 内分泌・代謝	内分泌・代謝疾患の検査	1	1 内分泌疾患の検査 2 代謝疾患の検査	講義	園田
	内分泌・代謝疾患の理解	2	1 内分泌疾患 1)視床下部系疾患 2)甲状腺疾患 3) 副甲状腺疾患 4)副腎疾患 5)性腺疾患 6)内分泌腫瘍		
		3	2 代謝疾患 1)糖尿病 2)高脂血症 3)肥満症 4)尿酸代謝障害		
2. 腎・泌尿器	腎・泌尿器疾患の症状と病態生理	4	1 尿の異常 2 排尿の異常 3 浮腫 4 水と電解質の異常 5 脱水 6 高血圧 循環系の異常 血液の異常 その他	講義	大島
	腎・泌尿器疾患の検査と治療	5	1 診察 2 検査 1)尿の検査 2)X 線検査 3)経尿道的操作・内視鏡検査 4)生検 5)精液・分泌物の検査 3 治療 1) 血液透析 2) 腹膜透析 3)腎移植		
	腎・泌尿器疾患の理解	6	1 腎不全 2 糸球体腎炎 3 全身性疾患による腎障害 4 尿路・性器の感染症 5 通過障害と機能障害		
		7	6 尿路結石 7 尿路性器の腫瘍 8 男性不妊症・勃起障害・その他の男性生殖器疾患 9 その他		
3.皮膚	皮膚疾患	8・9	1. 症状と 病態生理 2. 検査と治療 3. 主な疾患	講義	正林
4. 精神	精神の主な疾患	10	1.精神障害の医学モデル	講義	石川
		11	2.精神障害の分類 3.主な疾患		
		精神症状と状態像	12		
	13		3.身体療法 4.幻覚妄想状態 5.意欲障害と行動症候群 6.器質性精神症候群		
	精神疾患の治療	14	1.精神療法 2.行動療法・活動療法		
15		3.社会療法 4.リエゾン精神医学			
評価			筆記試験 100% 100 点 (1.内分泌 20 点 18 分、2.腎泌尿器 25 点 23 分、 3.皮膚 15 点 14 分、4.精神 40 点 40 分)		
	テキスト等 1.内分泌)成人看護学 6 内分泌・代謝 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院 2.腎・泌尿器)成人看護学 8 腎・泌尿器系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院 3.皮膚)成人看護学 12 皮膚 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院 4.精神)精神看護学[I] 精神看護の基礎 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院				

授業科目	疾病治療論 V	講師名	1.星川智也 2.大沼広樹 渡邊悠児 藤田裕明 3.平林秀樹 4.石井洋次郎	単位 1単位	時期 1年次後期
			時間 30時間		
科目目標 1 脳・神経疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 2 運動器疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 3 感覚器疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。					
単元	回数	授業内容		方法	担当
1. 運動器	運動器疾患の症状と病態生理	1	1. 疼痛 2. 形態の異常 3. 関節運動の異常 4. 異常歩行または跛行 5. 神経の障害	講義	星川智也
	運動器疾患の診断と治療・処置	2	1. 診察・診断の流れ		
		3	2. 検査 1)画像診断 2)関節鏡検査 3)その他 3. 治療・処置 1)保存療法 2)理学療法と作業療法 3)手術療法 4)義肢と装具		
運動器疾患の理解	4	1. 先天性疾患 2. 骨折 3. 脱臼 4. 捻挫および打撲 5. 骨関節の炎症性疾患 6. 筋および腱の疾患 7. 麻痺性疾患 8. 脊椎の疾患 9. その他の疾患	5		
2. 脳・神経	脳・神経疾患の症状と病態生理	6	1. 意識障害 2. 高次脳機能障害 3. 運動機能障害 4. 感覚機能障害 5. 反射性運動の障害 6. その他	講義	大沼広樹
		7	1. 検査 1)神経学的検査 2)補助的検査法 2. 外科的治療法 3. 内科的治療法		
	脳・神経疾患の診断と治療・処置	8	1. 末梢神経疾患	講義	渡邊悠児
		9	2. 神経・筋疾患 3. 脳・神経系の感染症 4. 中毒、5. てんかん、6. 痴呆		
		10	7. 脳疾患		
11	8. 脊髄疾患	講義	藤田裕明		
3.耳鼻咽喉	耳鼻咽喉疾患	12	1. 症状と病態生理 2. 検査と治療 3. 主な疾患	講義	平林秀樹
13					
4.眼	眼疾患	14	1 症状と病態生理 2 検査と治療 3 主な疾患	講義	石井洋次郎
15					
評価		16	筆記試験 100% 100点 1.運動器 30点(27分)、2.脳神経 40点(36分)、 3.耳鼻咽喉 15点(14分)、4.眼 15点(14分)		
テキスト等 1.運動器)成人看護学 10 運動器 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院 2.脳・神経)成人看護学 7 脳・神経 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院 マインドマップで分かる・つながる解剖・機能・症状・疾患,学研,2015 3.耳鼻咽喉)成人看護学 14 耳鼻咽喉科 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院 4.眼)成人看護学 13 眼 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院					

授業科目	疾病治療論 VI	講師名	1. 黒崎 元之 2. 天海 裕子	単位 1単位	時期 2年次前期
				時間 30時間	
科目目標 1 新生児を含む、小児特有の疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 2 女性生殖器疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。					
単元		回数	授業内容	講師名	
1. 小児	小児特有の疾患・病態・治療	1	1.代謝性疾患・内分泌疾患	黒崎 元之	
		2	2.感染症・免疫・アレルギー疾患		
		3	3.循環器・呼吸器疾患		
		4	4.消化器疾患・腎・泌尿器疾患		
		5	5.血液・造血器疾患・悪性新生物		
		6	6.神経・筋・運動器疾患		
		7	7.小児の感覚器疾患		
		8	8.精神疾患・こども虐待		
2. 女性生殖器	女性生殖器疾患の主要症状とその病態生理および主な検査	9	1. 主要症状とその病態生理 2. 主要な検査	天海 裕子	
	女性生殖器疾患の主な処置および治療	10	3. 主要な処置 4. 主要な治療の原理とその実際		
	女性生殖器疾患の病態生理と検査および治療	11 12 13 14	5. 主な疾患の理解 (疫学的特徴・病態生理・検査・治療・合併症・予後)		
評価		15	試験 筆記試験 100% 100点 (小児 50点 45分、女性生殖器 50点 45分)		
テキスト等 1. 小児：小児看護学1 小児看護学概論・小児臨床看護総論 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院 小児看護学2 小児臨床看護各論 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院 2. 女性生殖器：成人看護学9 女性生殖器 系統看護学講座 専門Ⅱ, 医学書院					

授業科目	薬理学 I	講師名	児嶋修一	単位 1 単位	時期 1年次前期
				時間 15 時間	
科目目標 1. 疾病に対する薬理作用の特徴作用機序、人体への影響を理解できる					
単元	回数	授業内容			方法
薬理学総論	1	1. 薬理学の概念			講義
	2	1)薬理学とはなにか			
	3	2)薬物療法の目的			
	4	3)薬理作用と作用機序			
		4)薬物動態と薬効			
		5)副作用と有害作用			
		6)薬物相互作用			
		7)中毒			
		8)薬物療法に影響を与える因子			
		9)薬物送達システム			
		10)新薬の開発			
		11)医薬品の安全な使用			
	5	2. 小児、妊婦、高齢者の薬物治療			
		1)小児			
		2)妊婦			
		3)高齢者			
	6	3. 医薬品の管理			
	7	1)医薬品と法規			
		2)医薬品の管理と取り扱い			
		3)処方箋と調剤			
		4)医薬品添付文書			
評価		試験 筆記試験 100% 100点(45分)			
テキスト等 疾病の成り立ちと回復の促進 3 薬理学 系統看護学講座 専門基礎, 医学書院 臨床薬理学 系統看護学講座 別巻, 医学書院					

授業科目	薬理学Ⅱ	講師名	児嶋修一	単位 1単位 時間 30時間	時期 1年次後期
科目目標 1. 治療に使用される主な薬物の作用・副作用を理解できる 2. 薬物治療時の観察点と管理方法を理解できる					
単元	回数	授業内容			方法
薬理学各論	1	1. 末梢神経系作用薬			講義
	2	2. 中枢神経系作用薬			
	3				
	4	3. 心臓・血管作用薬			
	5	4. 抗炎症薬			
	6				
	7	5. 呼吸器系作用薬			
	8	6. 消化器系作用薬			
	9				
	10	7. ホルモン系・生殖系作用薬			
11					
12	8. 抗感染症薬				
13	9. 抗悪性腫瘍薬				
14	10. 漢方薬				
評価	15	試験 筆記試験 100% 100点(90分)			
テキスト等 疾病の成り立ちと回復の促進 3 薬理学 系統看護学講座 専門基礎, 医学書院, 2018 臨床薬理学 系統看護学講座 別巻, 医学書院, 2018					

授業科目	微生物学	講師名	藤澤隆一 川合 覚	単位	2単位	時期 1年次前期～後期
				時間	30時間	
科目目標 1.ヒトの疾病の原因となる細菌、真菌、ウイルス及び原虫・寄生虫の構造や基本的性状を説明する。 2.病原微生物の感染経路、感染のメカニズム及び感染様式を説明する。 3.病原微生物が疾病を引き起こす機序を説明する。 4.微生物の感染に対する人体の生体反応や防御機構、免疫応答について説明する。 5.代表的な病原微生物について、それらが引き起こす疾病を挙げる。 6.代表的な感染症について、それらの原因となる微生物を挙げる。 7.感染症の診断、治療及び予防について概説する。 8.院内感染や日和見感染症について説明する。 9.医療現場での感染対策の基本について概説する。						
単元	回数	授業内容			方法	担当
微生物学序論：	1	原核生物と真核生物、微生物学の歴史、感染症の現状と問題、新興・再興感染症			講義	藤澤
細菌学総論 真菌学総論	2	細菌の形態と分類、構造、増殖様式、常在細菌叢 真菌の形態と構造、増殖様式、命名法				
ウイルス学総論	3	ウイルスの特徴・基本構造、増殖様式、分類、プリオン				
感染と感染症Ⅰ	4	定義、感染源と感染経路、感染の成立、宿主-病原体関係、感染症の種類				
感染と感染症Ⅱ	5	微生物の違いによる感染機構の特徴				
感染と免疫Ⅰ	6	免疫の意義、免疫システムの概略、自然免疫と獲得免疫、MHC、免疫反応のメカニズム				
感染と免疫Ⅱ	7	液性免疫、抗体と補体、細胞性免疫、免疫応答と免疫寛容、移植免疫、粘膜免疫、アレルギー				
原虫・ 寄生虫感染症	8	原虫・寄生虫学総論：特徴、構造、分類 主な原虫・寄生虫感染症				
感染症の診断と 治療法	9	感染症の検査法・診断 感染症に対する化学療法の基本、薬剤耐性（AMR）				藤澤
感染症の予防	10	滅菌と消毒、感染制御、ワクチンと受動免疫療法 感染症法、検疫				
病原細菌と 細菌感染症Ⅰ	11	グラム陽性球菌（GPC）、グラム陰性球菌（GNC） グラム陽性桿菌（GPR）				
病原細菌と 細菌感染症Ⅱ	12	グラム陰性桿菌（GNR）、呼吸器感染症を起こすグラム陰性桿菌、抗酸菌				
主なウイルスと ウイルス感染症Ⅰ	13	DNA ウイルス、RNA ウイルスⅠ				
主なウイルスと ウイルス感染症Ⅱ	14	RNA ウイルスⅡ、レトロウイルス、肝炎ウイルス				
評価	15	定期試験、授業参加度（出席状況など）により評価します。				
テキスト等 系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進 4 微生物学, 医学書院						

2.専門基礎分野－3) 教授内容

3) 社会保障と生活者の健康

授業科目	医療概論	講師名	山根美智子	単位	1 単位	時期	1 年次
				時間	30 時間		
科目目標 わが国の医療に対する国民の社会的・時代的ニーズについて理解し、医療の果たす使命と、医療従事者の役割を認識し、将来医療のプロとなる自己の意識を高める。 プロジェクト学習により個人及びグループで課題を達成する。							
単元	回/90分	授業内容				方法	
	1	プロジェクト学習・ポートフォリオについて				講義 演習	
	2	準備：題材提示「なぜ医療について学ぶか」 今知っている「理想の医療のために必要なこと」を挙げる				演習	
	3						
	4	ビジョンとゴールの設定： 「どんな医療になって欲しいか」「そのために何をゴールとして提示するか」				演習	
	5	計画：目標達成のための戦略、手持ちカードの確認、時間、				演習	
	6	情報リサーチ				演習	
	7						
	8						
	9	プレゼンテーション準備				演習	
	10	プレゼンテーション				演習	
	11	ポートフォリオの再構築				演習	
	12	リレー・フォー・ライフへの参加によりがん患者への医療および社会の支援について考える				参加	
	13						
	14						
	15	まとめ				講義	
評価		100 点	授業参加状況、アクションシート、ポートフォリオ、凝縮ポートフォリオで評価する。 リレー・フォー・ライフ参加レポート				
テキスト等		総合医療論 系統看護学講座 別巻, 医学書院					

授業科目	環境衛生学 I	講師名	三浦 善憲	単位	1 単位	時期	1 年次前期
				時間	15 時間		
科目目標 1. 健康と環境の関連について学ぶ。 2. 現在の衛生上の問題点を考察する。							
単元	回 / 90 分	授業内容				方法	
	1	公衆衛生学とは 健康と疾病について				講義	
	2	人口と保健統計について					
	3	日常生活の環境、農薬中毒について					
	4	環境保全と公害問題を考える					
	5	産業保健総論					
	6	地域保健と国際保健について					
	7	まとめ					
評価		課題レポートと筆記試験で 100 点					
テキスト: よくわかる専門基礎講座 公衆衛生. 金原出版株式会社 国民衛生の動向: 厚生省の指標 (財), 厚生統計協会							

授業科目	環境衛生学Ⅱ	講師名	三浦 善憲	単位 1 単位	時期 1年次後期
				時間 30 時間	
科目目標	1. わが国の環境衛生に関する諸問題について現状を学ぶ。 2. 健康の維持増進を図るための実践と保健行政・国際保健				
単元	回/90分	授業内容			方法
	1	公衆衛生と予防の考え方について			講義
	2	産業保健各論について			
	3	母子保健について			
	4	高齢者の保健について			
	5	感染症と性感染症①について			
	6	感染症と性感染症②について			
	7	食品衛生、栄養①について			
	8	食品衛生、栄養②について			
	9	精神保健について			
	10	学校保健について			
	11	疾病と障害の概念について			
	12	地域保健と疫学について			
	13	まとめ①			
	14	まとめ②			
評価	15	課題レポートと筆記試験で 100 点			
テキスト よくわかる専門基礎講座 公衆衛生. 金原出版株式会社 国民衛生の動向:厚生指標(財), 厚生統計協会					

授業科目	関係法規	講師名	降旗 幹子	単位	1単位	時期
				時間	30 時間	
科目目標	1. 医療看護に関する主な法規について理解できる。 2. 医療従事者としての法的責任の基本を理解できる。					
単元	回数	授業内容				方法
法規の概念	1	1. 法規の概念 2. 衛生法規の意義、沿革、分類 3. 厚生行政のしくみ				講義
保健師 助産師 看護師法	2	1. 保健師助産師看護師法の沿革				
	3	2. 保健師助産師看護師法の目的・定義 3. 保健師助産師看護師法の免許・試験 4. 保健師助産師看護師法の業務と責任				
	4	1. 医療法の目的と理念、定義 2. 病院等に関すること 3. 診療に関する諸記録				
医療法	4	1. 医療法の目的と理念、定義 2. 病院等に関すること 3. 診療に関する諸記録				
関係職種 of 医事法規、薬事法規	5	1. 医師法、薬剤師法 2. 歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士等 3. 診療放射線技師法 4. 臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律 5. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床工学技師、義肢装具士、その他関係する法律				
薬務法	6	1. 薬事一般に関する法、 2. 薬害被害者の救済等法 3. 麻薬・毒物関係法				
保健衛生法規	7	1. 地域保健法 2. 母体保護法、母子保健法				
	8	3. 老人保健法 4. 学校保健法 5. その他の関係する法規				
予防衛生法規	9	1. 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 2. 予防接種法 3. 結核予防 4. 食品衛生法 5. その他予防衛生に関する法規				
環境衛生 公害関係法規	10	1. 生活衛生関係法 2. 環境整備に関する法律 3. その他の環境衛生法規 4. 環境基本法 5. 環境保全に関する法規				
社会保険関連法規	11	1. 社会保険の目的、種類および仕組み 1) 健康保険法 2) 国民健康保険法 3) 介護保険 4) その他の医療保険関係法規				
社会福祉関連法規	12	1. 生活保護法 2. 児童福祉法 3. 障害者基本法および障害者の福祉に関する法				
	13	4. 母子および寡婦福祉法 5. 児童虐待防止に関する法律 6. 社会福祉士及び介護福祉法 7. 社会福祉法 8. 老人福祉法 9. 民生委員法				
看護職と関係法規	14	1. 労働基準法 2. 労働安全衛生法 3. その他の労働関係法規 4. 労働災害補償保険法 5. 雇用保険法 6. 育児・介護休業法				
評価	15	筆記試験 100% 100 点 (90 分)				
テキスト等 健康支援と社会保障制度 4 看護関係法令 系統看護学講座 専門基礎, 医学書院						

授業科目	社会福祉 I	講師名	野口 悦紀 小平 大夢	単位 1 単位	時期 1年次後期
				時間 15 時間	
科目目標 1. 社会福祉の理念について理解する。 2. 現在の社会福祉・社会保障制度について理解する。					
単元	回数	授業内容			担当
	1	1. 社会福祉とは			小平
	2	1. 社会保障制度と変遷			
	3	1. 高齢者福祉			
	4	1. 社会保障制度			野口
	5	1. 医療保険制度			
	6	1. 公的扶助 2. 障害者福祉			
	7	1. 福祉の実践と医療・看護			
評価		筆記試験 100% 100 点 (45 分)			
テキスト等 健康支援と社会保障制度3 社会保障・社会福祉 系統看護学講座, 医学書院					

授業科目	社会福祉Ⅱ	講師名	長谷川 友子 黒子 千代子	単位 1単位	時期 3年次後期
				時間 15時間	
科目目標 1. 社会福祉サービスの現状が理解できる。 2. 社会福祉と医療・看護の連携の必要性と課題について理解できる。					
単元	回数	授業内容			担当
	1	1. 社会福祉について 2. 老人福祉法について			長谷川
	2	1. 介護保険について			
	3	1. 障害者福祉について			黒子
	4	1. 児童・家庭福祉法について			黒子
	5 6	1. 社会福祉実践と医療看護について			黒子
	7	まとめ			長谷川
評価		筆記試験 100% 100点 (45分)			
テキスト等 社会保障制度と生活者の健康3 社会保障・社会福祉 系統看護学講座, 医学書院					